

2面からのつづき

埼玉県朝霞市  
牧野 千恵子



この度、皇太子殿下のご接見の栄誉を賜りましたこと、私の人生の中で最も名誉なことであり、かかる機会を賜りましたことに、善行会事務局の方々、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。当日は、天気予報に反して青空が時々広がるご接見日となり、気持ち

も晴れ晴れとなるはずでしたが、私は緊張と興奮が募るばかりでした。ご接見が始まり、私の前に殿下がお立ちになられた時に、その高貴なお姿と優しいお言葉に、感無量となり、涙が溢れでて、何をお答えしたかもはっきりと覚えていない状態になってしまいました。ただ、「頑張ってください。でも私の心の中に残っております。」とお言葉が、今

殿下から賜りましたお言葉を宝として、これからも、皆様に楽しんで頂けるよう、芸能ボランティア活動に邁進していきたいと思っております。

三重県御浜町  
大家 正伸



国歌「君が代」の歌詞にある岐阜県指定の天然記念物「さざれ石」千三百キロ大二個が私の家の庭に設置されています。

高校教師として四十年、そのスタートが岐阜県であった私に「日本善行会善行章」受賞を祝って、教え子たちが贈ってくれたものです。その傍らにある立札の「人間向学の心を忘れると

惰性に陥る。惰性は敗北と衰退の一途である。」と日々の生活の拠り所としておりました。

そうした折、皇太子殿下ご接見の栄誉を賜り、その上恐れ多くも直接お話しさせていただき、誉と喜びの気持ちで胸が満溢となりました。教師生活への慰労、慈善活動への激励、更に健康への心配りまでして下さいました。ご即位前の皇太子殿下の心あたたまる恩賜を胸に刻み、常に国民の心に寄り添われるお姿をお手本として、この後も被災地や施設への慈善活動推進に向けて、更に努力を続けたく新たな決意を致しました。

宮城県名取市  
長谷川 太



この度、さわやかな秋晴れのもと、東宮御所へお招きをいただき、皇太子殿下のご接見の栄に浴することができましたこと、衷心より御礼と感謝を申し上げます。

ご接見の「日月の間」では、殿下より、微笑みながら、「どのような活動をされましたか。」とお尋ねになりました。「私は、宮城県名取市の閉上(ゆりあげ)からまいりました。殿下には、被災地への訪問をいただき、大変ありがたいございました。

東京都板橋区  
松澤 育男



秋晴れの穏やかな日に、皇太子殿下のご接見の栄を賜り心から感謝申し上げます。殿下がお近くにたよってお話をされ緊張いたしました。

まずは、殿下から「何をされてましたか」と尋ねられました。「地域でのボランティア活動をしております。今では学校の生徒ご近所の子供たちの安全安心のために見守りをしております。ふりか

えると五十年にもなりませ」と答えますと、殿下から「多くの皆さんから喜ばれるでしょう」とお言葉をいただきました。

「こちらから挨拶をかける前に大きな声で子供たちから挨拶され若い力を毎日いただいております。」と答えますと、殿下より「頑張ってください。ありがとうございます」と激励をいただきました。

福島県郡山市  
金山 充子



「私は子供が三人おります。長男が幼稚園に入ってから、三男が高校を卒業するまで、通算二十五年間PTAの役員を務めてまいりました。そのことで善行章をいただき、それを機に、福島県支部の役員と事務局を、合わせて二十年余りさせていただきます。今日に至っております。」と殿下に申し上げます。すると穏やかに

な笑顔で、「PTAを長くやってこられたのですね。」とうなずかれ、「福島はいかがですか?」とお尋ねになられたので、「問題はまだまだありますが、皆で少しずつ解決に向けて努力してまいります。」と答えました。皇太子殿下と直接お話できる光栄に浴し、これからの善行会活動にますますの励みとなりました。で、早速十月二十八日には、会員有志で、年間行事の一つである「ゴミ拾いボランティア」に心地よい汗を流してきました。私にこんな素晴らしい機会を与えてくださったすべりの方々へ深く感謝を申し上げます。

群馬県前橋市  
繁山 和子



例年にならない猛暑の続いたこの夏も残暑の声も聞かぬ内あつという間に紅葉の過ぎ易い季節を迎えました。晴天の中庭の芝生が眩しいばかりの明治記念館に集合し、当日の諸注意と昼食の後、係の方々のご案内によりおよそ一般人には叶う事のない東宮御所の入り口に立った時はもう、感激で夢心地の喜びと緊張感で

胸が痛いほどでした。私は早くして主人をガンで亡くし看取った一人として多くのガン患者の方たちが望むように在宅での終焉を迎えたく「家に帰りたい、家で死にたい」在宅ホスピス八つのケースをテーマとした研究会を群馬県で仲間と立ち上げました。経済的にも物質的にも恵まれたこの時代に、人を尊び、生命の尊厳に心のケアの大切さに思いを深く、人間性を育てて行くことがどんなに大切かと日夜想いを巡らせ、この精神は善行活動のモットーである、世のため、人の為の信念は強い繋がりがあると信じます。

大分県大分市  
山崎 勝利



ご接見のご案内をいただき一日千秋の思いで居りました。心の内では楽しみと不安が入り交った日々でした。ご接見を明日に控えた今日は雨、心配しつつ迎えた朝は晴天でした。電車を乗り継ぎ明治記念館に到着、ロビーはご接見の皆様でいっぱいでした。受付を済ませ資料を見ると全国から百十九名の方、九州・沖縄からは九

名の方が出席されておりました。その人数の少なさに更に緊張感が増しました。明治記念館から東宮御所まで約十分を徒歩で進む、要所、要所に御所を警備する警察官がいます。東宮御所の門を入ると緑に囲まれた木立と玉砂利の中、歩を進め東宮御所の玄関に着きました。広いロビーを通りご案内された部屋は「日月の間」といいます。厳かな中、皇太子殿下のお出ましを待ちます。緊張した空気の中、皇太子殿下がお出ましになりました。善行会会長の挨拶の後、皇太子殿下のお言葉をいただきました。私は前列の七番目です。前列

左奥から順に殿下とお話され、私の前に殿下が立たれお言葉をいただきました。「どの様な事をなさっていますか」と私の活動をお尋ねになりましたので、「交通安全活動を頑張っております。最近では高齢者の事故が多発しておりますのでその安全対策に努めています」殿下より「お身体を大切になさりながら活躍してください」と身に余る温かいお言葉をいただきました。この感激を胸に社会奉仕活動を更に精進して参る所存です。ご推薦いただいた多くの皆様にご挨拶申し上げます。